

5年「だれもが幸せになる社会を」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	正義の意味を考えよう	正義が実現した社会を 想像しよう	正義が実現した社会の 一員としての考え方をもう
導 入	今日の学習は、第27回「だれもが幸せになる社会を」です。「22のとびら」の13番「偏見をもたず、正義の実現に努める」です。「道徳みちあんない」では、○△？のどれを付けていますか		
展 開 前 段	○隔離されていた人たちには、どんな苦しみがあったのでしょうか ○ハンセン病は、普通に触れ合うだけではうつらないこと、清潔な場所で暮らし、栄養も十分に取れていれば発病しないこと、適切に薬を飲めば治ることが分かっているのに、どうして、患者さんたちや家族への差別や偏った見方が起こったのでしょうか		
つ な ぎ 発 問 ①	○政府が、謝罪広告を出したり、ハンセン病が治る病気であるということを広めたりしても、差別や偏った見方がなくならなかったのは、どんな理由からでしょう ○「人が同じ過ちを繰り返さない」ようにと、きみ江さんは願っていますが、社会には、顔や服装などの見た目や住んでいる地域、貧しさ、体の不自由さなどによって、差別や偏った見方が残っています		

展開後段	正義とは、どういうことでしょう	正義が実現している社会とは、どのような社会でしょう	正義が実現する社会をめざして、私たちは、どのような考え方をもたなければならないのでしょうか
つなぎ発問②	正義が実現した社会は、遠い未来の社会のことではありません。皆さんの心の中にある正義で、今から実現することができる社会です。みんなで一緒にやってみましょう		
振り返り			